

私の出来ること

日立一高附属中学校

一年

新藤 しんどう

優月 ゆうつき

私は、そんなに多くの困っている人と出会ったことはないが、何回か見かけたときあのと何かできたかなと思う。心の中ではお手伝いしたい。しなくてはと思うのだが、迷惑だ。たらどうしようと思うとあと一歩実際に行動に移す勇気がでない。そこで私は、障害者や高齢者との支え合いについて考えた。

最近知ったばかりなのだが、私の好きなYOUTuberにろう者の人がいる。私が詳しくくろう者や手話について学んだのは、小学校四年生の親子学習会だ。その時は、ろう者になるまでの話や手話について教わった。そしてそのYOUTuberは十代で私と大きな年の差はなく、一人は家族全員耳が聞こえないデフアラビリーで、もうひとり家族は健常者なんだそうだった。手話やるう者あるある。ろう学校などについての動画も見ることができ、初めて知ることも多く勉強になった。し

かし、今までされたことのある差別についてはとても心が痛んだ。最近では減っていることや、お店の店員さんが親切にしてくれたり、少し手話をつかってくれたりと言っていたが、手話を使っていたら睨まれたり、お店の店員さんに耳が聞こえないと言ったりレジを放置されたと言っておりひどいと思う。特に、動画内で紹介されていた聴覚障害者の娘が跳ねられ死亡し、賠償金を求めたところ被告側は難聴者はコミュニケーションが困

難で学力が低く、将来仕事は難しく収入は予想では健常者の40%だから賠償金を減らせと言っているというニュースだ。あまりにも差別的な考えでこれには私も怒りを覚えた。このように、私はYOU Tubeを通して聴覚障害者について知ることができた。普段の生活でここまで詳しく知ることができないと思ったため良かったと思う。

私が聴覚障害者のためにできることは、指文字、挨拶などの日常会話や緊急時に使えそ

うな手話を覚え、コミュニケーションを取れるようにすることだと思ふ。耳が聞こえないから気づかない危ない場面などでは伝えたりしたい。また、将来もしお店で仕事をしるう者のかたと出会ったらより分かりやすくしていねいな接客ができるようにしたい。

私が中学生になって、視覚障害者のかたとや荷物をもらったお年寄りとお会ったときに「どうしよう。どうしよう。」と思っているうちに他の人が助けをいて、また声をかけることが

できなかつたと思ふ。しかし、私がYouTubeでろう者についてその大変さなどを理解したように、これをきかけにさらに色々な人への理解を深めたい。またそのYouTubeの「一回声をかけてみてくださーい！したら自信が持てると思ひます」という言葉を聞き、今ならあと一歩の勇気ができると思ふ。私は、すべての人が幸せを感じられる社会になつて行けばいいと思ひ、たくさんの人の力になりたい。